

尾身茂氏、新型コロナワクチンの効果は「あまりなかった」と断言 橋下徹氏は「メディアが煽りすぎた」6/10 えんためねっと



元大阪府知事で弁護士の橋下徹氏が6月8日、トーク番組「そこまで言って委員会NP」（読売テレビ）に出演。新型コロナウイルスの流行を振り返り、新型コロナワクチンについて私見を述べた。

番組では、元新型コロナウイルス感染症対策分科会会長の尾身茂氏らを迎え、専門家や有識者などが出演した。

橋下氏は当時のコロナ禍を振り返り、「メディアが煽りすぎましたよ、これ」としたうえで、「国民の皆さんも、いま振り返ってみれば、あそこまでやりすぎではないかと尾身さんにいろいろ言っていましたけども、あの当時、どうだったか、ですよ。毎日、毎日、感染者数をバンバカバンバカ毎日発表してですよ。みんなが社会経済活動をやっちゃいけないような、なんかやっていたら、あいつら不届き者みたいになっていた」とメディアを批判。

ワクチンの効果について、尾身氏は「私見を申し上げますと、まず有効だったかどうかという話を結論から言うと、感染防止効果、感染を防ぐ効果は残念ながらあまりないワクチンです」と断言。「ワクチンをやったら絶対に感染しないと言う保証はないし、実際に感染した人がいる」と説明した。

また、橋下氏が「(ワクチンは)若い人たちとか、子供はいらんんじゃないですか。感染予防効果がないということであれば、現役世代や子供には打たす必要がない」と私見を述べると、尾身氏は「これは分科会の会長として早い段階から何度も言っていますが、若い人は感染しても重症化しないし、副反応にも比較的強いから。これについては、本人たちがやられたいんならどうぞ」と回答。橋下氏が「そのアナウンスは聞かなかったような気がするな」と疑問を呈すると、尾身氏は「記者会見では何度も言っていますが、テレビでは他のほうをやるから」と話していた。

橋下徹氏、新型コロナ騒動を総括 政府の“お願いベース”は今後「無視すりゃいいんですよ」6/9(月)スポニチ

元大阪府知事で弁護士・橋下徹氏（55）が8日放送の読売テレビ「そこまで言って委員会NP」（日曜後1・30）に主演し、新型コロナ騒動について振り返る場面があった。

「『新型コロナ総括』徹底討論スペシャル」と題した企画。そこで劇作家・大野裕之氏は「エンタメ業界が目の敵にされた」と訴えたが、橋下氏は「本当に大変だったと思うんですけど、あれって要請なんですよね。“お願い”なんですよ」と語る。

「あの時は出来なかったと思うんですけど、無視すりゃいいんですよ。政治と行政が絶対に止めないといけないときは命令ですよ。でも、命令をやった場合は完全補償をしないといけない」。

「要請という中途半端なやり方は、日本の政治行政のずるさというかね。お願いだから十分な補償はしないんですよ。だから我々国民は自分たちの生活のことを考えて、要請ということであつたら、無視するのも一つの判断だと」と自身の見解を述べていた。